

意匠道場 2018～講義とディスカッションで楽しむ90分～第1回開催

大阪発明協会では、昨年度会員サービスの一環として特許業務法人深見特許事務所の協力のもと夜間講座「知財塾 2017」を実施してまいりましたが、今年度は「意匠」に的を絞り、「意匠道場」と銘打って装いも新たに計4回シリーズで開催することになりました。

6月13日の第1回は、「戦略的意匠出願」をテーマに、深見特許事務所の小田晃寛弁理士と藤川順弁理士に担当していただき、意匠×特許、意匠×商標という2つの知財ミックスという観点から、ディスカッションの例題が設定され、参加者を4つのグループに分け、それぞれファシリテータ役の弁理士に入っただきながら例題解決のための検討が行われました。ディスカッション後は各グループのうち1グループの代表者(今回はファシリテータ役の弁理士)が検討内容を発表し、その発表をもとに小田・藤川両弁理士に解説いただくという形で進められました。

特許や商標と比べると注目度が必ずしも高いとは言えない意匠ですが、今回は定員を超える23名の参加者が集まりました。ディスカッションのテーマがとっつきやすさと実践性を兼ね備えたものであったため、議論も初回にもかかわらず大いに盛り上がりました。

次回の意匠道場は、9月12日(水)18時30分より「画像意匠」をテーマにて開催予定です。